平成 24 年度 東濃支部症例検討会報告

例年になく厳しい冷え込みが続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか。 平成24年12月1日、市立恵那病院にて東濃支部症例検討会が行われました。 東濃支部での症例検討会が始まって今年で4年目になります。参加人数が年々減少 しており今年はどうなることかと心配しておりましたが、昨年とほぼ同様の24名の 方に参加していただきアットホームな雰囲気で会を進めることができました。



座長には多治見市民病院の山下恒彦 先生と、国保上矢作病院の伊藤豊彦先生 をお招きし、6名の発表者より整形疾患、 神経難病において難渋した症例等を提 示していただきました。

今年は経験豊富な諸先輩方の参加も あり、各発表とも質疑応答時間内では収 まりきらない活発な意見交換が行われ ました。

また治療に関しての考え方や方法を紹介していただく場面もあり発表者、参加者ともに1症例ずつ「検討する」良い機会になったように思います。各症例の治療方法・問題点の捉え方等、多方面からみていく必要性と他セラピストや医師等を含めた他職種との意見交換の場は各々の技術向上、より良いリハビリの提供のために必要と感じられました。



東濃支部教育係 寺尾 智子